

## 第2学年 国語科学習指導計画

### 1. 単元名 じゅんじょに 気をつけて 読もう

教材名「たんぽぽの ちえ」 (指導時期：5月)

### 2. 単元の目標

- ・時間の順序や理由を表す言葉に着目し、様子とそのわけを考えながら説明的文章を読むことができる。
- ・大事な言葉や文を書き抜き、経験と結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うことができる。

### 3. 指導計画 (全10時間)

次	時	おもな学習活動 (第二課題は●)	◎指導上の留意点 ☆評価
一 次	1	○たんぽぽについて知っていることや、題名について話し合う。 ○「せつめいのじゅんじょに気をつけて読み、わかったことや思ったことを書こう」という学習課題を設定し、学習の見通しをもつ。	◎題名に興味をもたせる。 ◎リード文を読み、順序に気をつけながら本文を読むことを理解させる。 ◎おもしろいと感じたことや不思議だと感じたことに気づかせながら読ませる。
	2	○「たんぽぽの ちえ」を読み、初発の感想を交流する。	☆題材に興味をもち、時間や事柄の順序に沿って説明文を読もうとしている。
二 次	3	○たんぽぽの花は、二、三日たつとどう変わるのか、読み取ろう。 ●二、三日たったころのたんぽぽのちえを短くまとめよう。わけも入れて一文にまとめよう。 「花とじくを休ませて、たねにえいようをおくり、たねを太らせるために、じめんにたおれる。」	◎たんぽぽの様子とそのわけを分けて読むこと、理由を見つけるときに文末表現が参考になることに気づかせる。 ☆花が咲いて、二、三日たったときの知恵とわけを読み取り、一文にまとめている。
	4	○花がすっかりかれたあと、たんぽぽはどう変わるのか、読み取ろう。 ●花がかれたあとのたんぽぽのちえを短くまとめよう。 「たねをとばすために、白いわた毛ができる。」	◎操作や動作化を通して理解させたり、生活経験から語らせたりして理解を深めさせる。 ☆花がすっかりかれたときの、たんぽぽの知恵とわけを読み取り、短くまとめている。

5	<p>○わた毛ができるころ、たんぼぼはどう変わるのか、読み取ろう。</p> <p>●わた毛ができたころのたんぼぼのちえを短くまとめよう。</p> <p>「たねをとおくまでとばすために、花のじくがのびる。」</p>	<p>◎軸が倒れている挿絵と、起き上がって伸びている挿絵を比較させる。</p> <p>☆わた毛ができるころの、たんぼぼの知恵とわけを読み取り、短くまとめている。</p>
6	<p>○よく晴れて風のある日と、しめり気の多い日や、雨ふりの日では、たんぼぼはどう変わるのか、読み取ろう。</p> <p>●よく晴れて風のある日と、しめり気の多い日や、雨ふりの日のたんぼぼのちえを短くまとめよう。</p> <p>「たねをとおくまでとばすために、らっかさんのひらきかたをかえる。」</p>	<p>◎天候による様子の違いを板書で示したり、児童にも描かせたりすることで、叙述の読み取りを深めさせる。</p> <p>☆天候による綿毛の様子の違いとわけを読み取り、短くまとめる。</p>
7 8	<p>○たんぼぼのちえをまとめよう。</p>	<p>◎「このように」がこれまでの内容をまとめる表現であることを確認する。</p> <p>◎どの知恵も、種をとばして仲間を増やすためのものであることを押さえる。</p> <p>☆文章全体を見直し、たんぼぼの働かせている知恵とそのわけを順序に沿って理解し、自分の考えをまとめている。</p>
三 次	<p>9 10</p> <p>○たんぼぼのちえのかしこいと思うところを 発表しよう。</p>	<p>◎「おもったことを書くときにつかってみましょう」を板書しておき、使いたい表現を選ばせる。</p> <p>☆たんぼぼの知恵でかしこいと思うところについて、自分の経験と結びつけて思いや考えをまとめたり、発表し合ったりしている。</p>